H26 福澤杯　報告書

パンフレット

1. 業務内容

大会当日用のパンフレットの作成、印刷

1. 問題点・対応

　二点指摘する。

　第一に、今回の大会では、出場可能弁士についてなど、幾つか大会規定が変わった。その内、数点を記載し忘れたり、誤字を見逃したりしていた。印刷前に訂正できたので、大きな問題とはならなかったが、注意を要する。

　第二に、パンフレット作成担当でありながら、実際の印刷に携われなかった。理由としては、(１)自分の印刷ポイントが残っていた為、印刷代を正しく産出できず、他の会員に依頼しなければならなかったこと(２)直前の弁士訂正などにより、予定が乱れてしまったことである。

　結果的に問題なく用意できたが、実際の印刷に携われなかったことは、問題が生じた際の責任が不明確になる為、避けるべきである。

1. 解決策

　一点目の間違いについて、一旦完成したものを何度も複数人で見直してもらうべきである。特に段落の下がりが一律かには注意が必要である。

　二点目について、作成に遅れを生じさせないよう、注意すべきである。一方、相手方のミスによる変更はどうしようもない所がある。作成に携わったものと変更点について連絡を取り合うべきであろう。

マイク担当

1. 業務内容

質問者のもとにマイクをもっていく。

(b) 問題点・対応

　今回の大会では審査員の方々が多く質問なされた。審査員席は三人並んでおられたことに加え、席が密集していた為、マイクの受け渡しの際に、質問なさっていない審査員の方のお手を煩わせてしまうことが数回あった。

　また不注意で、マイク担当の席が用意されていることに気付いていなかった為、弁論が始まる直前に、先輩に教えられて、急いで席へ向かうことになった。

(c) 解決策

　一点目に、審査員の方に援助を頂いたことは大変ありがたいことであるが、お手を煩わせることは基本、避けるべきである。スムーズにマイク渡しができるよう、落ち着いて丁寧に役職を遂行すべきであろう。

　第二に、マイク席に気付いていないのは完全に自分の不注意であるので、以降、会場がどのように用意されているのか、全て把握しておけば問題は起こらなかった。リハーサルの際に完全に確認をしきるべきである。